

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-28	鍋木清方記念美術館管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	文化課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鍋木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鍋木美術品等の調査及び研究を行うため。
効果	鍋木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・指定管理者制度により、鍋木清方記念美術館の効率的な管理運営を行った。
・指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鍋木清方記念美術館運営事業	鍋木清方記念美術館指定管理料	利用者数(人)	16,188 / 20,000		19,000	81%
				59,820 / 59,820		60,410	
02	鍋木清方記念美術館維持修繕事業	維持修繕料	-	- / -		-	-
				1,971 / 2,000		18,896	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	61791 / 61,820		79,306	
		事業費の合計 (千円)		61,791 / 61,820		79,306	
		人件費 (千円)			6,292	6,830	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鍋木清方記念美術館運営事業	令和6年度も引き続き広報紙やSNS等を活用し、周知に努めたが、目標の来場者数には届かず、新たな視点での周知方法を探る必要がある。	指定管理者の専門性等を生かし、文化活動の支援及び推進に寄与する。	定期的な事務打合せ及び意見交換を継続し、指定管理者と意思疎通を図り、清方芸術の魅力を広く伝える。
02	鍋木清方記念美術館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民、市民団体等

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☒ 改善・変更	☐ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
鍋木清方記念美術館は、本市にゆかりのある近代日本画の巨匠、鍋木清方の作品を展示し、その功績を伝える場であり、また、日本画を描くワークショップなどの体験を通し、日本画の伝統を伝えることで、本市の文化振興に寄与している。 令和6年度の来館者数は、目標値及び前年度実績値を下回る結果となった。 引き続き、事業内容などを指定管理者と協議し、充実を図るとともに、今年度は重要文化財《築地明石町》三部作の鎌倉初公開と併せて、効果的な広報に努め、来館者数の増加に努めたい。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標	目標値	5,016,000	5,111,000	5,206,000	5,306,000	5,530,000	4,770,000	
	実績値	1,035,650	2,109,190	5,478,320	4,408,560	3,767,660		
	達成率	20.6%	41.3%	105.2%	83.1%	68.1%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総来館者数(R6)・1日平均来館者数							
団体名	鎌倉市	萬鉄五郎記念美術館(花巻市)	笠岡市立竹喬美術館	浜松市秋野不矩美術館				
他市実績	16,188人	13,451人	16,741人	24,629人				
	57人／日	42人／日	65人／日	102人／日				

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	鐺木清方記念美術館と同様に、一人の画家を主軸とした美術品等の収集及び展示を行う公立施設の状況を把握して、客観的な比較、評価を行っている。 1日の平均来館者数を比較した場合、首都圏域という立地条件を考慮すると、来館者数は更なる増加の余地がある。
--------------------------	--